

真に学生ファーストの新しい日本大学像を求めて

# < 3・21 シンポジウム >

— 日本大学への“助成金削減”と  
“志願者激減”の責任を問う —

## 「新しい日本大学をつくる会」

—— 新しい日本大学をつくろう ——

このたび日本大学への私学助成金が35%もカットされ、志願者も激減しました。これは昨年5月の「アメフト不祥事」直後から予想されたにもかかわらず、大学として適切な対応がなされず、上記のような最悪の事態を引き起こしました。法人トップとして説明責任を果たさず、逃げ回っている田中英壽日本大学理事長の責任は重大です。その責任を多面的に究明し、真に学生ファーストになる「新しい日本大学」像を提起すること、これが本シンポジウムの目的です。

◆コーディネーター：牧野富夫（「つくる会」代表、日本大学元副総長）

◆パネラー：1. 広田照幸（日本教育学会会長、日本大学文理学部教授）

「教育学者の目からみた日本大学」

2. 沼野輝彦（元法学部長、日本大学元副総長）

「いかに日大首脳の責任を追及するかー訴訟を視野に」

3. 真砂久晃（日本大学非常勤講師雇止訴訟原告団団長、日大ユニオン）

「雇用の安定こそ教育の要諦——裁判闘争の現状」

4. 長沼宗昭（元日本大学教授、新生日大のガバナンスを考える会代表）

「新しい日本大学をめざして」

◆特別発言 奥野康俊（関西学院大学のアメフト被害選手の父親、大阪市議）

「学生のための大学と大学スポーツの信頼回復をめざして」

●主催：新しい日本大学をつくる会

協賛：日本大学教職員組合、日大ユニオン、  
新生日大のガバナンスを考える会

●日時：2019年3月21日（木）午後14時～17時

●会場：渋谷区勤労福祉会館 第一洋室

渋谷区神南1丁目19-8

電話：03-3462-2511

●対象：日本大学の再生を望む方（参加費：無料）



※ 会場の収容人数が90人程度ですので、  
あらかじめご了解下さい。

渋谷駅ハチ公前から徒歩6～7分 明治神宮前から約11分